

対象年度		平成31年度						総合計画実施計画策定及び行政評価シート			
事務事業名		加入促進事業						予算事業名		加入促進経費	
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令			
			02	07	03	1101	経常経費				
総合計画体系	2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)						事業の区分	主要事業			
	2-4安全に暮らせる安心なまちづくり(防災・防犯・安全)										
	③交通安全対策の推進						担当課係等	防災安全課			
	4交通事故被害者の救済							交通防犯係			
事業期間		継続 (年度～平成33年度)									
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】				
万一の交通事故の際に、少ない掛け金で見舞金が死亡・入院・通院日数に応じて支給されるので、経済的負担の軽減を図れる。							万一の交通事故の際に、少ない掛け金で見舞金が死亡・入院・通院日数に応じて支給されるので、経済的負担の軽減を図るため。また、茨城県市町村総合事務組合が実施する事業であるため。				
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】				
県民交通災害共済への加入促進を図りながら、受付業務を行い、加入者に交通事故があった場合には、見舞金支払い等の手続きを行う。							市内在住者				
							【事業をとりまく環境の変化】				
							交通事故による災害を受けた場合に、見舞金を受け取ることができる制度で、少額の会費で交通事故被災者に見舞金を支給する制度である。民間でも同様の制度はあるが、市域全体に望ましい質・量のサービス確保するため、行政で行う必要性はあると思われる。				
【平成31年度 事業内容】			【平成32年度 事業内容】				【平成33年度 事業内容】				
県民交通災害共済への加入促進を図りながら、受付業務を行い、加入者に交通事故があった場合には、見舞金支払い等の手続きを行う。			県民交通災害共済への加入促進を図りながら、受付業務を行い、加入者に交通事故があった場合には、見舞金支払い等の手続きを行う。				県民交通災害共済への加入促進を図りながら、受付業務を行い、加入者に交通事故があった場合には、見舞金支払い等の手続きを行う。				

■事業費

		H29年度	H30年度			
財源内訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他の	190	200			
	一般財源	0	1			
歳入計(千円)		190	201			
歳出内訳	節(番号+名称)	金額(千円)	金額(千円)			
	08 報償費	190	201			
歳出計(千円)(A)		190	201			
伸び率(%)			5.78			
備考	総合計画 84 ページ 予算書 65 ページ					

平成29年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H29年度	H30年度	H31年度
活動 指標	自治会への加入取りまとめ依頼・加入受付	回	目標	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	加入者数	人	目標	6,100.00	6,200.00	6,200.00
			実績	5,328.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	B どちらとも言えない	民間等での実施でも可能。
妥当性	実施主体の妥当性	B どちらとも言えない	民間等での実施でも可能。
	手段の妥当性	B どちらとも言えない	一般的な手法ではある。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	市民全員が対象である。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	保険を活用する内容もかなりあるので、ある程度の成果があがっている。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	毎年、継続的には進んでいる。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
市が行う事務量が多く（1月～3月）担当職員の仕事量の負担を招いている。県民交通災害共済加入促進交付金が交付されているが、人件費を考えると市の負担は大きい。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
加入者にとっては、少ない掛け金で見舞金が支給されるので、加入促進を図る。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 加入者の減少、共済事業収支の悪化を踏まえ、事業主体である茨城県市町村共済事務組合と各市町村の協議がスタートするので、その動向を注視して行く。
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。